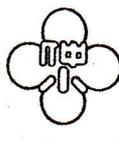


平成25年度
NO. 9
1月8日発行
1月号

仲町だより



なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

一年の計

校長 澤井 英子

平成26年お正月は、穏やかな暖かな晴天に恵まれました。本年も教職員一同どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【年頭に当たり】

13日間の冬休み。いかがお過ごしでしょうか。冬の風物が少なくなったとはいえ、街には大きな門松やお正月飾りが、あふれていました。一年間の様々な出来事の中でも、苦しかったことや辛かったことも新しいエネルギーに変え、新年に向けがんばろうとする意欲に溢れているように感じました。

近所にある神社に初詣に行った帰り、遠くに富士山がくっきり見え、思わず手を合わせ「今年も安全で、安心できる学校でありますよう」祈りました。知らず知らずのうちに自分自身の心の中に、霊峰・富士があることに気づきました。

年頭の新聞に、人工知能の話が出ていました。すでに、人工知能はプロ棋士との対戦で勝利し、人間の事務仕事のほとんどをカバーできる可能性があるそうです。では、人間にしかできないことは何か。それは、人間の総合的な判断能力なのだそうです。東大の入試問題を解くことはできるけれど、小学生にもできる仲間はずれを見つけるような問題が解けないとか。学校で学ぶべき大切なことが示唆されているようで、興味深い記事でした。

「一年の計は、元旦にあり」といいます。2学期後半が始まるのに当たり、この一年を充実した明るく穏やかな一年にするために、学校生活を振り返り、教職員も子供たちも、原点に戻り一つ一つできることを増やしていきます。

まず、『仲町スタンダード』の確認から始めます。ご家庭でも、もう一度『仲町スタンダード』をご確認ください。

【体と心のトレーニング】

昨年行った運動能力テストでは、全学年に渡り、低い水準にある種目がありました。

子どもたちへのアンケートでは、1週間に、体育の授業の他は全く運動しない子どもも居て、健康面への影響が心配されます。行事としての持久走大会だけでなく、日常的に運動できる環境を整えていきます。

心の健康を維持するために、メンタルヘルスに取り組んでいます。臨床心理士の佐藤淳先生に、体を動かしながら心を落ち着かせる方法を学んだり、千里金蘭大学准教授 斎藤富由起先生にSST（ソーシャルスキルトレーニング）で、人との関わり方を教えていただきます。一人一人の子どもが、明るく穏やかに生活できることを願っています。

【環境を整えて】

バスケットゴールのボードが新しくなりました。本校のゴールは、休み時間になると競ってシュート練習をしたり、簡易ゲームをする子どもでいつも賑やかです。そのゴールが長年の風雨により老朽化し、目印の黒枠すら見えづらくなってきました。そこで、ボードを取り替え、金属部分の塗装までお願いし、やっと、工事が完了したところです。子どもたちが今まで以上に活用してくれるものと期待しています。

本校の校庭には、たくさんの樹木を植えていただいております。年末に約1週間かけたのですが、新年になってからも作業を続けてくださいました。

今回は、北東の角にあった桜が老朽化し、何種類ものキノコが生え、根元もぐらぐらと危険なために、伐採していただきました。日常の手入れと共に、緑豊かな環境を守っていきます。